

授業科目(ナンバリング)	海外旅行実務 I (CB107) (実践的教育科目)			担当教員	大井田 かおり (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務管理者試験の受験を目指す学生を主たる対象とする。時差に関する知識や計算、空港コードや航空会社のコードなど海外旅行実務に必要な分野を学ぶ。世界の地理、地名を理解している前提で進める。同試験に出題される問題が解けるようになるように、過去に出題された分野について、重点的に取り上げる。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	海外旅行実務について具体的な内容を理解することができる。出入国手続を通じて異文化を理解することができる。				・授業態度・授業への参加度 ・確認テスト ・定期試験	10% 10% 40%	
情報収集、分析力	海外旅行実務について基礎的な知識を身につけ、正確に説明や案内ができるようになる。日本における渡航手続、出入国手続について説明することができる。				・確認テスト ・課題レポート	10% 20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	グローバルな視点から、地域間の時差や通貨、航空や観光関連施設について考えることができる。				・定期試験	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(50%)、確認テスト(20%)、レポート(20%)、授業態度等(10%)により、総合的に評価する。 定期試験は、総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」のうち、「出入国関係法令」「出入国手続実務」「海外旅行実務」部分に相当する出題範囲とする。							
授 業 の 概 要							
海外旅行実務についての基礎的な知識を身に付ける。テキストに準拠し講義を進める。担当教員の添乗員の経験をもとに、業務で必要となる知識を学ぶ。第2回目からは授業の最初に小テストを行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：『海外旅行実務』、『出入国法令と実務』（株）JTB 総合研究所 参考書： 必要に応じて、授業中に紹介する。 指定図書：『海外旅行実務』、『出入国法令と実務』（株）JTB 総合研究所							
授業外における学修及び学生に期待すること							
海外旅行の場合、島国の日本からは航空機を利用することがほとんどであり、国境を越えるためにさまざまな手続きが必要となります。国内旅行との違いを頭において臨んでください。また実務経験がなく座学で進められますので、毎回必ず授業範囲についてのテキスト（必ず毎回の授業に持参すること）を読み、授業後の復習を確実にすることが必要です。扱う範囲も幅広いのでひとつひとつのテーマを段階的に習得するよう心がけてください。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	海外旅行案内の基礎知識(1)	知っておくべき外国旅行事情について学ぶ。特に「時差」についてその概念と実際について理解する	予習：外国旅行について 復習：「時差」とは何かについて
2	海外旅行案内の基礎知識(2)	前回に続いて時差についての理解度を確認し、次に航空機の「所要時間」について説明する。具体的に例題を出解きながら理解を深める。	予習：航空会社名と空港名について。復習：航空機の所用時間。
3	航空の知識	日本に発着している世界の航空会社と世界の主たる空港について学ぶ。航空運賃と等級や主たる航空機の種類と機内配置図等についても学ぶ	予習：日本発着の航空会社名と空港名について。復習：航空運賃、等級について
4	航空時刻表の見方(1)	国際航空時刻表として OAG がある。英語での記載ではあるが、要領をつかめば誰でも利用できるようになる。その具体的な見方を学ぶ。	予習：国際航空時刻表の読み方について 復習：OAG の見方の復習
5	航空時刻表の見方(2)	前回学習したことについて、具体的に時刻表を使用して、発着時間を出してもらい。同ルートでも曜日によってノンストップの直行便があれば、途中寄港する便もある。	予習：国際航空時刻表の例題を解く 復習：途中寄港について。
6	列車の知識	ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリアの各鉄道の概要について。列車の等級と寝台車等の設備について。旅行者用の割引運賃について学ぶ。	予習：各国の鉄道の概要 復習：列車の等級、設備について
7	列車時刻表の見方	欧州鉄道と世界の鉄道の時刻表として「ヨーロッパ鉄道時刻表」がある。この時刻表の見方を習得する。	予習：鉄道時刻表の見方 復習：ヨーロッパ鉄道時刻表の特徴について
8	バス・船舶の知識	アメリカ、欧州及びその他の国の路線バスと観光バスについて、また日本発着の定期客船航路とクルーズについて学ぶ。	予習：各国のバス・船舶 復習：定期客船航路とクルーズについて
9	ホテルの知識	ホテルの種類とその特徴。ホテルの等級、客室タイプ、料金建て、ホテル関連用語を学ぶ。それらを通じてホテル選択の基準がわかるようになる。	予習：ホテルの種類、特徴、等級、客室について 復習：関連用語について
10	その他商品の知識	レンタカー、外国通貨、海外旅行傷害保険について学ぶ。世界主要レンタカー会社や国際運転免許証、通貨はどのようにするか等について学ぶ。	予習：レンタカー、外国通貨など周辺実務について 復習：通貨について
11	渡航手続、旅券手続	海外旅行に出かけるには先ず旅券が必要である。旅券法という法律に基づいて、その種類や取得の為の申請手続や受領手続について理解する。	予習：旅券について 復習：旅券申請手続について。レポート作成。
12	予防接種、査証手続	訪問国によっては事前に予防注射や査証取得が必要になる場合がある。予防接種の種類や査証の不要な国と必要な国、その取得方法について学ぶ。	予習：予防接種と査証について復習する 復習：査証の必要な国
13	出入国の知識	CIQ といわれる Custom(税関)、Immigration(出入国手続)、Quarantine(検疫)について、それぞれの業務内容を学ぶ。また CIQ の手続について理解する。	予習：CIQ について 復習：出入国手続の手順について。
14	日本の出入国手続	日本への帰国時の税関手続について学ぶ。携帯品の免税範囲と課税される場合の具体例について。また動植物の持込についても学ぶ。	予習：税関手続き、免税手続、復習：課税方法、検疫について
15	外国人の日本出入国	外国人の日本出入国及び日本在留に関する法令として「出入国管理及び難民認定法(入管法)」がある。2012 年から新たな在留管理制度となっている。主なポイントを学ぶ。	試験準備
16	定期試験	これまでの学修をふまえ、試験の準備をする。	